

令和6年度 八戸市立小中野小学校 学校経営の方針

校長 河村 雅 庸

基本理念

<子ども本位>

学校の主役は常に「子どもたち一人一人」である。目の前にいる子どもたちの現在をよく見て、またその未来(将来)をも見据え、一日一日の指導を丁寧に積み重ねながら、子どもの持てる力を伸ばし、可能性を広げていく。

<笑顔あふれる学校>

子どもたち個々の内面に寄り添い、丁寧な児童理解をベースにして、「心の居場所づくり」を進める。あわせて、発達のダンカンに応じた学習規律・生活規律の確立と望ましい人間関係の形成(「絆づくり」)を図っていく。

<信頼される学校>

学校と家庭は、車の両輪に等しい。子どもたちの伸びを願い、家庭からの声に丁寧に耳を傾けながら、教職員それぞれのよさや持ち味を生かし力を尽くす。開かれた学校づくりのために、情報発信にも積極的に取り組んでいく。

めざす学校像

「笑顔と活気に満ちた明るい学校」

☆誰もが明日も来たくなる「魅力ある学校」☆

- ・子どもにとって 通いたい学校
- ・保護者にとって 通わせたい学校
- ・地域にとって 応援したい学校
- ・教職員にとって 働きたい学校

めざす児童像

- ・困難にもくじけず 最後までがんばる子
- ・話を聴き 自分の考えを伝える子
- ・相手の気持ちを考えて仲よく協力する子
- ・心身ともに健康で 安全な生活を送る子
- ・ふれあいを大切にし ふるさとを愛する子

【教育目標】 「かしこく やさしく たくましく」

【努力目標】

- ・自分の頭で考え 行動する子
- ・人を思いやり なかよくする子
- ・健康で 進んで体をきたえる子

【学校目標】 「つながり 関わり合い 自らを高める小中野っ子の育成」

- <重点施策>
- (1)自分の考えをもち進んで伝え合う子どもの育成
 - 学習意欲の喚起、思考を促す教師の働きかけの工夫
 - 対話のベースづくり
 - 対話を意図的に取り入れた授業づくり(校内研修の日常化)
 - (2)互いに認め合う人間関係づくりの推進
 - あいさつと返事の励行
 - 支持的な学級づくりの推進
 - 居場所、役割、つながりのある集団づくり
 - (3)保護者・地域との連携の推進
 - 保護者・地域への情報発信及び人財活用
 - 地域の教育力を生かした体験活動の充実